

2016年 教育部山行 雪の伯耆大山

3月20日～21日、春山訓練で鳥取県伯耆大山に登りました。

(行程) 20日 大阪12:00～大山寺16:30到着(テント泊)

21日 大山寺5:45出発～(夏山ルート)～頂上8:45～弥山10:40～雪上訓練(約1時間)～大山寺14:30



大阪を正午に出発して、大山寺駐車場16:30到着。
明るいうちに、大山寺にお参り。

境内の雪は、除けられた塊が残る程度。

往路の車から見上げた大山の南側稜線は雪が少なく、雪山の訓練ではなく普通の登山になってしまうのかなと、みんなちょっと残念気分…

夜はテントでお鍋を食べて、翌朝に備えて早めの就寝。

夜中、少し雪が…

翌朝は4:00起床で、昨夜のお鍋を利用してお雑炊作り。寝起きの身体にお雑炊がしみていきます。

まだぼんやり暗い5:45に出発。

夏山ルートに登るにつれ、だんだんすごい雪が…標高1000m辺りでアイゼン装着。



お天気は少しどんより。

樹木にはしっかり樹氷がついています。

みんな雪山の訓練ができるねと、一安心。

今年の冬は雪が少なく、近畿の山に登っても雪景色はあまり見られませんでした。大山は3月でもしっかり雪でした。



6合目でテントが設営されていました。
この辺りから、急に風が強くなってきて、
慎重に登っていきました。

時折吹く強い風に、少し立ち止まることも…



そして大山頂上到着。

今まで覆っていた雲がどんどん晴れていき、青空
とまぶしい太陽が。

この素晴らしい景色に、一同「うわ～」と歓声。

ピークにかかっていたガスが流されていって、景
色も刻一刻変化していきます。

頂上の避難小屋と、雲の切れ目に広がる地上
の景色。

真っ青な空と、雪と雲の白さ、そして地上の緑
と茶色。

「これを見ることができただけで、ここまで
頑張っ登ってきた甲斐は十分！！！」





向こうのピークまでは行けませんでした、今立っていると
ころのもう少し先までは行くことができました。

風もなく、暖かい最高の気候で、数十分景色を楽しむことが
できました。

頂上のモニュメントの上に、燦々と太陽が。
暖かそうでしょう？

下りの途中、少しコースを離れた雪の斜面で、
滑落停止の訓練をしました。

下にロープを張ってもらい、雪の斜面を仰向け
にすべっていき、くるっと反転してピッケルで止
める訓練です。



緩い斜面で、下にロープもあるのでありますが、初めての
のピッケル訓練に仰向けのすべりもこわごわ。

1 時間程度、何度も繰り返して訓練した後、引き上
げましたが、その直前少し離れた斜面をスキーの 2
人がしゅるる〜と滑って降りていきました。

気持ちよさそう〜

下山後、3連休最終日で渋滞が予想されたため、
温泉は諦めて、大阪へと戻りました。

また来年も行けたらいいな。